

第28回日本木管コンクール
(クラリネット部門)
会場:東条文化会館コスミックホール
発行日 2017年10月26日(木) 第1号

ほっとねっと

発行:日本木管コンクール委員会
〒673-1311 兵庫県加東市天神66
TEL 0795-47-1500

~ようこそ加東市 Cosmic hall へ~

いよいよ「第28回 日本木管コンクール クラリネット部門」が始まりました。名物となったコンクールの看板もホワイエでみなさんをお出迎えしています。



〈ごあいさつ〉 加東市長 安田正義

「近頃、子どもの習い事として、将棋教室が活状を呈している」と、多くのメディアで報じられています。対局のインターネット中継、コンピュータと現役棋士の対戦など、人気獲得のための長年にわたる努力が実を結んだこともあります。注目を集めた最大の要因は、史上最年少でプロ棋士になった直後に、29連勝という新記録を樹立した藤井聰太四段の活躍です。

かつて将棋界は、幾度となく、競技人口の減少、人気の低下といった苦境に立たされました。江戸時代から脈々と続く将棋文化が、このまま衰退してしまうのではないかと危ぶまれたこともあります。しかし、その時に、若い才能が現れ、大きな活躍をして、文化を守り、受け継いできました。

全国的な少子化、高齢化が叫ばれる時代、将棋界のまた苦境に立たされつつありますが、藤井四段が巻き起こした旋風により、多くの人が将棋に目を向け、多くの子どもたちが教室の門をくぐる状況を作り上げることができました。

文化を隆盛させ、継承していくためには、それぞれの時代で、若い才能が活躍することが不可欠なのです。

このコンクールは、若手演奏家の登竜門と呼ばれています。ここに集う若い才能が、コンクールを通して竜と成り、世界中を駆け巡ることは、さらには、音楽の世界にさらなる隆盛をもたらしてくれることを期待しています。



〈日本木管コンクールを迎えて〉 NPO法人 新しい風かとう 理事長 土肥 富幸

昨年4月、加東市東条文化会館(コスミックホール)の運営を、特定非営利活動法人【新しい風 かとう】が引き継ぎました。ワールドワイドで伝統ある「日本木管コンクール」は、当法人としては2度目の開催となります。

今年も、深まりゆく秋とともに、クラリネット部門・(通算28回)のコンクールを迎えることができましたことは、ひとえに、温かくおもてなしを届けるボランティアスタッフや、音楽が好きなコスモス賞審査員をはじめ、関係者みなさまのご尽力のたまものと心より感謝申し上げます。

今回は、若い才能と可能性に富んだ155名が全国からコスミックホールに集います。出場される皆さん、これまで積み重ねてきた練習の成果を充分に発揮し、自信を持って演奏して下さい。

響きの素晴らしいホールでの心響かせるその音色を、加東市から世界に夢と希望を発信されるとともに、思い出として残してください。

出場される皆様のますますのご活躍を心からお祈りいたします。



〈審査員 松本健司先生より〉

私が初めてコスミックホールに来たのは1991年、第2回日本木管コンクールに参加するためでした。初めて降りた新大阪駅、バスに乗り換えて東条で降り、高速道路のバス停から階段を降りるとコスモスの花壇と立派なホールが目に飛び込んできて、「明日ここで吹くのか~」と緊張感が高まったのを覚えています。第1次予選では私のすぐ前か2人前に当時フランスから帰国されたばかりの赤坂達三さんが出演しており、ステージ裏で演奏を聴かせていただきました。私も直後に同じステージで演奏しましたがそのときの記憶がはっきりしておらず、覚えてるのはホールが響いてとても気持ちが良かったことと、第2次予選と本選での赤坂達三さんの演奏が素晴らしいかったです。当時フランス留学を目論んでいた私にとって赤坂さんの演奏は大変刺激的で、そのときの演奏を聴いたことでその後の私の人生は大きく変化しました。

その後、1995年にコスミックホールに来て以来なかなか再訪できていたのに、急にコスミックホールでの演奏会が決まって今年9月に突然の再来! 当日のリハーサルで22年ぶりにステージで音を出した瞬間、懐かしさと安心感とで幸せな気持ちになりました。

出場者の皆さんにはこの数日間でたくさんのことを見つけて、スタッフの方々との交流、人の優しさ、街の雰囲気や空気を感じることで皆さんにとって成長の糧となることがたくさんあるはずです。確かに良い演奏をするために集中するのはいちばん大切なことです。それだけになってしまふのはもったいない。



〈公式伴奏者からのメッセージ〉

コンクールであるにも関わらず、あたたかい雰囲気と、きめ細かい「手作り感」でお迎えしてくださり、毎回たくさんの参加者が集まっています。私はピアニストという立場で参加させていただいております。

参加者の皆様と一緒に舞台で演奏させていただくので、とても緊張するのですが、スタッフの皆様が気配りして下さり、音楽のことだけを考えて参加者の皆様と舞台に立たせていただくことができます。

この、ただただ音楽のことだけを考えて演奏する、というのは簡単なようで、色々な状況から難しい時がたくさんあるのではないかと思います。せっかくこんな素敵なホールで演奏させていただけるのに、段取りのこと、食事のこと...考え出したら音楽以外のことでの心配事も尽きません。

でもこのコンクールはそういう面もフォローしてくださるので、私はもちろん、参加者の方々も気持ちよく演奏できるのではないかと思います。

今年もこの素敵なホールで素敵な参加者の皆様と演奏させていただけることを、とても幸せに思っております。 小澤 佳永



〈ボランティアスタッフの紹介〉

「新しい風かとう」はじめ多くのボランティアが、日本木管コンクールを運営しています。

出場者の皆様が安心して、日々の成果を発揮していただけるように、私たちが「おもてなしの心」でサポートいたします。

困ったこと、希望されることがあれば、何でも気軽にスタッフまでお申し出ください。



楽器修理コーナー

出場者の方が安心して演奏していただけるよう、(株)ビュッフェ・クランポン・ジャパンから今年も楽器の修理・点検のご協力をいただいております。

一次予選から本選まで、特に優れたナンバーワンの技術者が点検を行っていただきます。あなたの不安をなくし、安心して演奏していただけるよう、万全の点検で素晴らしい演奏ができるようみなさんを精一杯応援します。

どうぞお気軽に、遠慮なさらずお声をかけて下さい。



HP

<http://cosmic-hall.org/>



加東市東条文化会館コスミック
ホール



加東市東条文化会館・コスミック
ホール